

石丸典生様（日本工学アカデミー会員・中部支部名誉顧問）ご逝去を悼んで

日本工学アカデミー本部理事在任中から地方でのアカデミーの活動の乏しさを憂い、中部地方独自でいくつかの見学会や講演会を企画実施され、後に同中部支部設立にあたり多大なご尽力をされた中部支部名誉顧問の石丸典生様のご逝去されました。深い悲しみに包まれております。在りし日の石丸様のお姿を偲びつつ、心よりご冥福をお祈りいたします。

石丸様は、機械工学者として熱交換器に関する優れた学術研究とその成果を基に自動車用空調装置を完成されました。1991年、日本電装株式会社（現 株式会社デンソー）代表取締役社長ご就任から、2000年に同社会長をご退任されるまで、トップ経営者として多くのご業績を残されました。

- ・1991年、将来を見据えた基幹技術の研究と開発を担うデンソー基礎研究所（現 現デンソー先端技術研究所）を設立
- ・1994年、製造現場が多品種少量生産へシフトしたことを背景に、大容量かつ高速読取が可能で、現在ではほぼ全世界で使われるようになったQRコードを発表
- ・1996年、真のグローバル企業を目指し、社名から「日本」を取り、「株式会社デンソー」に変更、西独ボッシュ社とならび、デンソーを世界最大の自動車部品メーカーへ導く
- ・1996年、一般社団法人マイクロマシンセンター理事長ご就任、その傍ら自動車用NEMS、MEMSの研究を牽引
- ・1996年、デンソーテクニカルレビュー（公開）を創刊

など、同社の発展に大きく寄与されました。

石丸様は、21世紀の日本社会の発展において、世界の先端科学の研究成果を誇る大学と20世紀を支えてきた製造業との連携強化が重要であること、そのモデルケースが中部地区であると仰っておられました。そのお考えのもと、日本工学アカデミーの諸活動に対し、豊田章一郎会員、故赤崎勇会員、故松尾稔会員らとともに積極的に取り組まれました。デンソーご退任後も、同社顧問として幅広くご活躍されるとともに、文部科学省知的クラスター創生事業東海広域ナノテクモノづくりクラスター統括事業本部長、愛知県発明協会会長、名古屋市科学館長、日本自動車部品工業会会長はじめ、数多くのご要職を歴任され、地域の若手科学者育成や工学の普及にご尽力されました。

生前に賜りました数々のご指導に改めて敬意と感謝の意を表し、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

日本工学アカデミー中部支部運営委員会一同



中部支部設立祝賀会でのスピーチ
(2016.11.23)



左から原邦彦副支部長、林良嗣支部長、石丸典生名誉顧問、太田光一副支部長